

「体操 天皇杯」第74回全日本体操個人総合選手権

大会要項

「第32回オリンピック競技大会（2020/東京）」日本代表第2次選考競技会

「第74回全日本体操種目別選手権男子トライアウト」

主催：（公財）日本体操協会

主管：東京都体操協会 後援：（一財）上月財団 NHK

協賛：テーブルマーク 日本航空 三菱地所 明治 朝日生命 ミズノ セイコーホールディングス  
シミズオクト セノー 東武トップツアーズ

- 1 期 日 2020年4月15日（水）～19日（日）  
4月15日（水）会場設営 会場練習  
4月16日（木）会場練習 男女監督会議  
4月17日（金）男女審判会議 開会式 男子・女子予選競技  
4月18日（土）男子種目別選手権トライアウト・決勝出場者会場練習  
4月19日（日）男・女決勝競技 ※テレビ放映 NHK BS 12:00～13:05 総合 13:05～15:00 予定

- 2 会場 武蔵野の森総合スポーツプラザ  
〒182-0032 東京都調布市西町290-11 TEL：042-488-8607

- 3 参加資格と条件 ※2020年度本協会への選手登録を済ませた者として。

個人総合男子

72名

- ① 年齢制限は、中学3年生以上とします。  
② 別表1に該当する者として。

別表1 2019年度大会結果による

①	全日本シニア選手権Ⅰ部 上位24名	24名
②	全日本学生選手権Ⅰ部・Ⅱ部（団体選手権） 上位24名	24名
③	男子ジュニア強化部推薦 a.インターハイ上位2名 b.aを除くインターハイ上位2名（2年生以下） c.a.bを除く全日本Jr 上位2名 d.a.b.cを除く全日本Jr 上位1名（2年生以下） e.a.b.c.dを除く高校選抜上位3名	10名
④	協会推薦6名	6名
⑤	トライアウト上位者8名	8名

※出場意思確認の際、棄権者が出た場合の繰り上げは上記の各カテゴリー内で行う。

男子種目別トライアウト

36名

- ① 年齢制限は、中学3年生以上とします。  
② 別表2に該当する者として。

別表2

①	全日本個人総合有資格者を除き、2019年度に行われた以下の競技会（一般ルール適用）に参加した選手とします。※全日本選手権（個人総合・種目別・団体）・NHK杯・全日本シニア選手権全日本学生選手権・全日本ジュニア・全日本個人総合トライアウト※該当競技会の成績帳票を提出して下さい。
②	①に該当しない選手で1種審判員2名の推薦を受けたもの。※予定する演技構成を書面と動画にて、申し込み用に添えて提出してください。※選考は13,000を基準に採点を行います。

※上記①、あるいは②の条件を満たしたものについて、強化本部および審判本部で書類審査を行い、各種目最大36名の出場を認める事とします。※申請方法については別紙をご参照ください。※申請に当たっては、1名につき2,000円の推薦申込料を添えて書類を提出してください。

- ① 年齢制限は13歳以上（2020年12月31日までに達する者）
- ② 別表3に該当する者とします。

別表3

①	全日本ジュニア選手権、全日本学生選手権1・2部、全日本シニア選手権（1部）の3大会（以下、予選会とする。）の得点を並べて 上位58名	58名
②	協会推薦 6名（推薦対象：ナショナル強化選手。対象者が無い場合には③へ繰り下げる。）	6名
③	予選大会の得点を並べて59位以下とトライアウト得点を並べて 上位8名（予選会とトライアウトの両方に参加した選手は高い方を有効得点とする。②が定数に満たない場合はここでの9位以下で不足人数を充当する。）	8名

## ※注意事項

- (1) 18歳未満（大会時）の参加者は「ドーピング・コントロールに関する同意書ドーピング・コントロールに関する同意書」を提出して下さい。を提出して下さい。
- (2) 学生（大学生・高校生以下）の参加者は、所属名を学校名またはクラブ名の出場資格を得た大会に関わらず、所属名を学校名またはクラブ名のどちらかを選択できます。その際、今年度の選手登録を済ませて下さい。
  - ① 大学・高校等とクラブで協議のうえ、両所属の承諾を得ることとします。
  - ② 登録時に双方の連盟に登録しておいて下さい。（本協会への登録窓口となっている、各都道府県体操協会登録窓口では、複数登録が可能となっています。）
- (3) (2)における所属の双方を表記することが可能です。また、学生以外の参加者は、所属・スポンサー契約等の条件をもとに本協会と参加者合議の上所属の表記を申告できます。
  - ① プログラムに双方の所属を掲載します。
  - ② 文字数に制限のある場合（競技帳票・得点表示板・場内放送や中継等における選手紹介・アナウンス・スポンサーによる肖像使用等）に、優先的に表記する所属を申告して下さい。
  - ③ ②における制限に対し、/で区切り、合計12文字以内の略称を申告することが可能です。競技帳票・場内表示等に使用します。例：〇〇〇〇クラブ/〇〇高校
  - ④ このほか制限が生じる場合、優先する表記を本協会と参加者合議の上決定します。
- (4) 個人出場有資格者が出場を辞退した場合、別表1～3の出場基準に基づき、次点の選手から繰上げて、定員を充たします。抽選会までを限度としてこの措置を行い、抽選後は棄権の扱いとします。
- (5) 本大会の出場選手で第32回オリンピック競技大会（2020/東京）出場有資格者は、（公財）日本オリンピック委員会の定めるところにより、「第32回オリンピック競技大会（2020/東京）日本代表候補選手」として所定の手続きを完了する必要があります。派遣事務手続き要領に基づく事前資料の提出をお願いいたします。なお、この手続きを行わなかった場合、日本代表選手の権利を放棄したものとさせていただきます。
- (6) 男子選手で東京五輪個人枠選考の事前意思表示を行っている選手は東京五輪チームメンバーとして選考することができません。
- (7) 女子選手で種目別（東京五輪個人枠）の選考を希望する場合は事前に意思表示が必要になります。

※すでに種目別（東京五輪個人枠）を希望した選手は、東京五輪チームメンバーとして出場できないことを承諾しなければなりません。（2019-2020W杯種目別シリーズ派遣基準参照）また、2018年度にW杯種目別選手権トライアウトにエントリーした選手および2019年度同トライアウトに出場を希望した選手も撤回することはできません。

## 競技に関する注意事項

## (1) 採点規則

男子は2017年版採点規則および体操競技情報最新号を適用します。

全日本個人及びN杯を対象に個人総合合計Dスコアに対して国内規定を設ける。大会ごとの2日間のうち、どちらか1日でもDスコアが下記に該当した場合は最終大会スコアに加点する。

35.0以下(なし) / 35.1~35.2(0.1) / 35.3~35.4(0.3) / 35.5以上(0.5)
--

女子は2017年版採点規則および体操競技情報最新号を適用します。

## (2) 競技規則(2020年版F I G競技規則に準ずる)

## 1) 班編成について

〈1日目(男子・女子予選)〉

【男子】1組6名の12組、2班編成とします。

- ・ II班 2019年度ナショナル強化選手(種目別成績による選出者除く)及びジュニア推薦選手5名と、成績順から選出された36名までをシードし開始種目を抽選。
- ・ I班 II班に編成された選手以外の合計36名で開始種目を抽選。  
※各班各組の開始種目は次の通りです。
- ・ 1組ゆか 2組あん馬 3組つり輪 4組跳馬 5組平行棒 6組鉄棒

【女子】1組6名の12組、3班編成とします。

- ・ III班 「2019年度ナショナル強化選手」と「予選会得点」を高い方から並べた合計24名で開始種目を抽選。
- ・ II班 「予選会得点」を高い方から並べた残りの選手合計24名で開始種目を抽選。
- ・ I班 「予選会得点」を高い方から並べた残りの選手合計16名と、③で選出された選手8名で開始種目を抽選。  
※各班各組の開始種目は次の通りです。
- ・ 1組跳馬 2組段違い平行棒 3組平均台 4組ゆか

〈2日目【男子種目別トライアウト】〉1組6名の編成とします。

- ① トライアウト出場者の開始種目は①オープン抽選により編成します。  
「ゆか」、「あん馬」、「つり輪」、「跳馬」、「平行棒」、「鉄棒」の6種目で編成します。
- ② 複数種目に出場する選手が、競技を行うことができるように演技順を抽選します。

〈3日目(男・女決勝)〉

決勝進出資格選手は、個人総合予選の成績順による男子上位30名+左記通過選手を除く各種目上位6名、女子上位24名+出場条件(※)を満たした選手各種目最大4名とし、成績順により組編成します。(男子WC個人総合で団体枠代表に決定した選手(以下、WC個人総合決定者)が決勝のみに出場する場合29名とし1位通過のオーダーとする。持ち点はWCで得た得点を予選得点とする)。※女子全日本個人総合予選で24位以内に入らなかった選手が、2019年世界選手権種目別決勝4位の得点を超えた場合。条件を満たした選手が4名を超える場合は得点上位者から4名とする。出場条件となる得点：跳馬14.733、段違い平行棒14.733、平均台14.000、ゆか13.966。)

※男子WC個人総合出場者で代表決定していない選手が、決勝のみに出場する場合は、持ち点の得点と全日本予選順位を比較してその順位でのオーダーとします。

※W杯個人総合に出場した女子選手は、出場した一つのW杯個人総合の大会で獲得した全種目の得点を、全日本個人総合(予選)のすべての種目の得点に差し替えることができます。差し替えの申し出は全日本個人総合(予選)終了直後、女子強化本部長に文書で申告するものとし、一度差し替えた得点は変更できないものとします。差し替えた得点は全日本個人総合(予選)で得た得点とみなし、個人総合(決勝)と種目別(予選)への進出、決勝の演技順、代表選考に関わる得点となります。

- ② 演技順は、各組とも最上位者が最終種目で最終演技者となります。
- ③ 男子種目別上位者各種目6名を6組として編成します。演技順は種目別トライアウト順位の低い選手から編成します。
- ④ リザーブは「男子2名」、「女子2名」とし公式練習終了まで準備をお願いします。

- 2) 棄権および選手変更の取扱いについて
  - ① 棄権の場合は、別途様式にてコンペティションマネージャーまで提出をお願いします。
  - ② 監督会議以前に棄権の申し出があった場合、演技順を監督会議で確認し、各組の中で演技順の調整を行う場合もあります。
- 3) 競技の進行について
  - ① 男女ともに原則として1種目25分のローテーションで競技進行します。ご協力をお願いします。
  - ② 決勝はNHKのテレビ生中継のために、演技者と演技者の間（得点表示）の時間を長くとするなどの進行に調整が入るので、ご協力をお願いします。
  - ③ 女子「ゆか」の競技が行われていない競技中に会場内にBGMを流す予定です。
- 4) 器械器具について
  - ① 本大会はセノー社製（2019製品カタログ版）およびSPIETH社製を使用します。SPIETH社製を使用する器具は、男子跳馬・平行棒、女子跳馬・平均台および男女跳躍板となります。
  - ② 本大会では、演技台（ポディウム）は設置しません。
  - ③ 男女ともサブ会場を設営します。
- 5) 跳躍板について
  - ① 「跳馬」はハードタイプ（3-3-2）・ソフトタイプ（2-1-2）を使用します。  
(注)バネの取り外しはできません
  - ② 「平行棒」、「段違い平行棒」、「平均台」については、ソフトタイプを使用します。
- 6) 女子ゆかの音楽について
 

伴奏曲はCDで、1枚につき1曲のみとし、通常の再生機器で再生できるものを大会用として準備下さい。
- 7) 跳馬の注意事項
  - ① 男子の種目別による日本代表選出希望者は2回とします。（1回目を個人総合の得点とします）  
※ 2跳越の実施は全日本種目別通過希望者及び種目別による東京五輪選出希望者
  - ② ② 女子の東京五輪個人枠の種目別による日本代表選出希望者は2回とします。（1回目を個人総合の得点および全日本種目別の予選への種目別順位を決定する得点とします。）

- 5 「第74回全日本体操個人総合選手権」の順位決定方法  
男子・女子「第74回全日本体操個人総合選手権」の予選・決勝の合計得点とします。
- 6 「第59回NHK杯体操」・「第74回全日本体操種目別選手権」への出場資格について

「第59回NHK杯体操」

男子

①	「第74回全日本個人総合選手権」予選・決勝の合計得点上位30名
②	上記①を除く全日本個人予選と種目別トライアウトの各種目上位6名

※WC個人総合決定者がN杯のみ出場意思を示した場合は決勝1位通過オーダーとする

女子

①	「第74回全日本個人総合選手権」予選・決勝の合計得点上位24名
②	上記①に加えて出場条件（※）を満たした者 各種目最大4名

※全日本個人総合（予選）で24位以内に入らなかった選手が、2019年世界選手権種目別決勝4位の得点を超えた場合。条件を満たした選手が4名を超える場合は得点上位者から4名とする。出場条件となる得点：跳馬14.733、段違い平行棒14.733、平均台14.000、ゆか13.966。）

「第74回全日本体操種目別選手権」

男子予選	
①	第49回世界選手権メダリストを除くファイナリスト、第73回全日本種目別優勝者、2019W杯種目別日本代表選手(代表選考会による選出)(日本国籍を有する選手)
②	全日本個人予選及びトライアウト成績各種目上位24名(①を含み合計24名)

男子決勝	
①	第49回世界選手権種目別メダリストをシード(日本国籍を有する選手)
②	全日本種目別予選上位8名(①を含み上位8名)

女子予選	
①	「全日本個人総合」2日間の競技いずれかで、各種目の上位8位までに一度でも入った選手に予選出場資格を与える。(人数未定)
②	演技動画提出による推薦演技動画提出による推薦(人数未定)

※ 細部は別途HPにおいて案内いたします

7

表彰

- ① 本大会は上記5における順位決定方法により表彰します。
- ② 男子個人総合優勝者に対して「天皇杯」を授与します。
- ③ 男女個人総合優勝者に「JOC杯」及び「優勝杯」を授与します。
- ④ 1～3位にはメダルと賞状、4～8位には賞状を授与します。
- ⑤ 同点は同順位として表彰します。

8

第9回アジア選手権大会日本代表について

男女とも強化本部から示された日本代表決定方法をご確認ください。

9

運営に関する事項について

- ① AD (Accreditation) カードについて  
 本協会へ役員、指導者または選手登録を完了した方のみにADカードは発行されます。会場では必ず見える位置に着用をお願いします。  
 ※各所属へのADカードの発行枚数と条件は、以下の通りといたします。

役 職	配布枚数
部 長：男女の選手が出場のチームでも1名分とします。会場練習時は競技エリアに入ることができます。競技中は観客席での観戦となります。	1
監 督：男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。会場練習時は競技エリアに入ることができます。競技中は競技エリア外（フェンスなどがある場合はフェンスの外側）まで入ることができます。	1
選 手：出場者数。	
コ ー チ：出場選手数分。	
トレーナー：男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。競技中は競技エリア外で待機してください。治療などを要する場合は競技エリア内に入ることができます。	1

- ② 大会保険ならびに大会期間中の怪我について

本協会の費用負担にて、参加選手に対して大会期間中スポーツ傷害保険をかけます。発生した傷害の補償についてはスポーツ傷害保険の範囲とします。  
 競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません。

※大会参加者は健康保険証を持参してください。

- ③ ドーピング検査について

本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会となります。出場者は大会参加申込が完了した時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなします。また、18歳未満（大会時）である場合は、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続きに対する親権者からの同意書を大会参加時に提出する必要があります。

本大会出場者は、本大会において実施されるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるのでご留意下さい。

- 血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技終了後2時間の安静が必要となりますのでご注意ください。

- 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、(公財)日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)で確認して下さい。また本大会はTUE事前申請が必要となる競技会として指定されております。TUE事前申請についてはJADAウェブサイト <http://www.realchampion.jp/process/tue>で確認して下さい。

- ドーピング・コントロールに関する同意書につきましては、18歳未満(大会時)の出場者は、JADAウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)トップページ右上の「特設サイト/18歳未満の競技者への検査について」のページをご確認いただき、ドーピング・コントロールに関する同意書を、ダウンロードの上、必要事項を記載して郵送にて提出をお願いします。また、2015年4月以降に開催された本会主催の競技会(国民体育大会を除く)において提出していただいた同意書が、満18歳となるまで有効となります。すでに有効な同意書を提出済みの方で、内容に変更の必要がない方は、本大会においては再度の提出の必要はありません。

#### ④ 炭酸マグネシウムについて

主催者側で準備したものを使用してください。各所属で持参した炭酸マグネシウムは、会場内に置くことはできません。

#### ⑤ 演技写真撮影およびSNSによる広報活動について

- 本大会は記録のため写真および映像を撮影します。本協会が定める競技者規程第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとします。また、出場選手の記録のため、本協会指定の写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。また、大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。

- 所属あるいは選手自身の記録のための撮影を希望する方は、大会参加申込み時に申し「撮影許可証」を取得してください。「撮影許可証」は1所属(男女別)につき3枚を上限として発行します。撮影の際は「撮影許可証」を必ず身につけて撮影してください。

- 競技普及や体操への人気拡大を目的として、本協会が定めるソーシャルメディア運用管理規程にもとづく画像、映像の撮影やインタビューを依頼することがあります。撮影した画像、映像は協会ソーシャルメディア(公式HP、Twitter、Facebook、Instagram)に掲載致します。ご協力をお願いいたします。また、大会期間中、広報委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。

#### ⑥ 所属の車両乗り入れについて

本大会は出場選手の輸送などを目的とした各所属の車両の乗り入れはできません。公共の交通機関をご利用ください。

## 10 参加申し込み

期 日 2020年3月23日(月)~4月1日(水)

申込方法 大会申込は<http://jga-web.jp/>にて行います。なお、参加申込終了後に棄権した場合でも参加料の返金は致しませんのでご了承ください。

参加料 1選手につき10,000円(男子種目別トライアウト申告からの出場者は8,000円とします)

※JASRAC(日本音楽著作権協会)負担金 女子選手のみ1名につき500円

同意書

18歳未満(大会時)の出場者は、JADAウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)トップページ右上の「特設サイト/18歳未満の競技者への検査について」のページをご確認いただき、ドーピング・コントロールに関する同意書を、ダウンロードの上、必要事項を記載して郵送にて提出をお願いします。

連絡先 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 8階

(公財)日本体操協会 TEL03-6455-4037 FAX03-6455-4038

「第74回全日本体操個人総合選手権 参加申込」係

その他

- ① 班編成の公開抽選会について  
日時；2020年4月3日（金）  
会場；有明体操競技場 会議室
- ② 競技時程・会議時程等は、参加者及び関係者に追って連絡することとします。
- ③ 上記、出場資格以外の記載内容については、若干変更される場合があります。